第３学年　道徳科学習指導案

１　主題名　　相手とわかり合って＜B－10　相互理解、寛容＞

２　教材名　「心をしずめて」（出典　日本文教出版「生きる力」）

３　学習過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 学習活動 | 教師の支援 |
| つかむ　５ | １　心をしずめての意味を考える。・ケンカをしたあとに落ち着いたとき。・時間がたつとしずまる。 | ・これまでの経験を生かして意見が言えるように考えさせる。 |
| 深める　３０ | ２　資料「心をしずめて」を聞いて、考えを話し合う①絵がよごれたときの気持ちを考える。・あやまってくれたから。・わざとじゃないから。②ともみの心が少しゆれたときの気持ちを考える。・あやまってくれたから。・わざとじゃないから。③家であき子の悲しそうな顔を思い浮かべたときの気持ちを考える。・ごめんね。・プレゼントをあげたい。＜学び合い＞④どうしておこりんぼが減ったのかを考える・あやまりたい。・悲しませた。 | 心をしずめて、相手の考えや気持ちについて考えよう・ともみの気持ちの変化に迫るために、怒り度合いのバロメーターを発問ごとで作る。また、板書には縦書きのおこりんぼを準備し、クラスの意見を集約できるようにする。＜おこりんぼ＞

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| １ | ２ | ３ | ４ | ５ |

・意見が出ない場合は、ペアで話し合う場を設け、発表できるようにする。・全員が発言できる機会をつくるために、ワークシートに自分の考えを書く。どうしておこりんぼが減ったのだろうか・グループで話し合いの場を設けて、考えを深める機会を作る。 |
| 見つめる　１０ | ３　学習の振り返りをする。　これからの生活で生かすことを書く。・相手の気持ちを考えて話しかけていきたい。 | ・本時の授業で感じたこと、友だちの意見を聞いたことをこれからの生活でどう生かしていくのかを考えるように助言したい。 |